

《付録》

○付録 1 : 開催要旨、要綱、構成員等	9 2
○付録 2 : 実証試験装置仕様書	9 8
○付録 3 : 実証試験結果	1 2 2

ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システム
に関する調査検討会
開催趣旨

深山間部等のいわゆる究極のブロードバンド・ゼロ地域における伝送システムの構築に当たっては、平野部の場合と相違して、有線による伝送システムはもとより、電波の直線性が強く到達距離も短い既存の無線アクセスシステム（2.4GHz帯、5GHz帯など）では設置が高コストとなりがちで、伝送路の整備がなかなか進まない要因となっている。

このような地域においては、険しい山岳や沢沿いなど複雑な地形に対応した、遮へいのある程度回り込む性質を持つUHF帯の周波数の電波を用いた広帯域無線伝送システムの構築が求められているところであるが、同周波数帯についてはその利便性から、放送局や携帯電話など様々な無線システムにより極めてちゅう密に利用されているため周波数の確保が困難とされてきた。

この調査検討会は、放送用などある目的のために割当てられているが、地理的条件や技術的条件によって他の目的にも利用可能な周波数（いわゆる「ホワイトスペース」）の広帯域無線伝送システムへの活用可能性を検討するため、UHF帯の周波数の電波を活用した無線システム試作機器によるフィールド試験等を通じて、見通し外地域を含めた一定の条件下での伝送品質などを測定・検証し、実用化に向けた技術基準や運用基準策定へ資することとし、もって、電波資源の有効活用及び地域活性化の促進を目的に開催する。

ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システム に関する調査検討会 開催要綱

(名 称)

第1条 この調査検討会は「ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システムに関する調査検討会」（以下「調査検討会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 本調査検討会は、放送などある目的のために割当てられているが、地理的条件や技術的条件によって、他の目的にも利用可能な周波数「ホワイトスペース」の活用可能性を検討するため、山陰等にもある程度回り込む性質を持つUHF帯の周波数を用いた広帯域無線伝送システムの無線技術について調査検討を行うことにより、新たな電波の周波数の有効利用と地域活性化の促進に資することを目的とする。

(調査検討事項)

第3条 調査検討会は、前条の目的を達成するために、次の事項について調査検討を行う。

- (1) 既存の無線アクセスシステムとUHF帯の周波数を用いた広帯域無線伝送システム（以下「WS-UHF帯無線アクセスシステム」と称する。）の比較による技術的条件の検討。
- (2) WS-UHF帯無線アクセスシステムの試作及び実環境における試験の実施。
- (3) WS-UHF帯無線アクセスシステムの実用化に向けた技術的条件の提言。
- (4) その他必要な事項

(構 成)

第4条 調査検討会は、九州総合通信局長の委嘱を受けた別紙に掲げる構成員をもって構成する。

(組 織)

第5条 調査検討会には座長を置く。

- 2 座長は構成員の互選により選出する。

- 3 座長は、構成員の中から副座長を指名することができる。
- 4 必要に応じて専門家の参加を認めることができる。
- 5 座長は、調査検討会の審議を促進するため作業部会を開催することができる。
- 6 調査検討会の事務局は、九州総合通信局企画調整課に置き、運営は、九州総合通信局が調査検討会の運営を委託する者がこれを支援する。

(運 営)

第6条 調査検討会は座長が召集し、主宰する。なお、座長が不在のときは、副座長がこれを代行する。

- 2 調査検討会を召集するときは、構成員に対しあらかじめ日時、場所及び議題を通知する。
- 3 その他、運営に関する事項は調査検討会において定める。

(報 告)

第7条 座長は、調査検討会の調査検討が終了したときは、その結果を九州総合通信局長に報告する。

(開催期間)

第8条 調査検討会は、平成23年7月12日から平成23年2月末までを目途に開催する。

(会議の公開)

第9条 調査検討会は、原則として公開とする。ただし、当事者又は第三者の権利、利益や公共の利益を害するおそれがある場合等、座長が必要と認める場合は、その全部又は一部を非公開とすることができる。

附 則

この要綱は平成23年7月12日から施行する。

ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システム
に関する調査検討会
構成員

(五十音順、敬称略)

◎座長

○副座長

◎おいえ尾家 ゆうじ祐二

国立大学法人九州工業大学 理事・副学長

きとう佐藤 ひろとし浩俊

株式会社NHKアイテック 九州支社 送信ネットワーク技術部長

ちゅうまん中満 あつお敦雄

えびの市 総務課 主幹

○つじ辻 としのり利則

公立大学法人宮崎公立大学 人文学部 国際文化学科 教授

ながくら長倉 よしてる芳照

宮崎県 県民政策部 情報政策課 課長

のむら野村 ただお忠生

社団法人日本CATV技術協会 九州支部 副支部長

ひろおか広岡 じゅんじ淳二

社団法人九州テレコム振興センター 事務局長

ふるごおり古郡 ひろし浩

日本通信機株式会社 厚木工場 技術部 放送グループグループリーダー

ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システム に関する調査検討会作業部会開催要綱

(目的)

第1条 ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システムに関する調査検討会作業部会（以下「作業部会」と称する。）は、「ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システムに関する調査検討会（以下「調査検討会」と称する。）」において、座長より別途検討を行うことが適当とされた作業事項を調査検討することとする。

(作業事項)

第2条 作業事項は、座長が検討を行うことが適当とした事項とする。

(構成)

第3条 作業部会長及び作業部会構成員は調査検討会の座長が指名する。

(運営)

第4条 作業部会は部会長が招集し主宰する。

2 作業部会の運営に関して必要な事項は、部会長が作業部会に諮って定める。

(事務局)

第5条 作業部会の事務局は九州総合通信局が行い、運営は、九州総合通信局が調査検討会の運営を委託する者がこれを支援する。

(開催期間)

第6条 作業部会の開催期間は調査検討会の開催期間内とする。

ホワイトスペース活用によるUHF帯広帯域無線伝送システム
に関する調査検討会
作業部会構成員

(五十音順、敬称略)

◎作業部会長

いしがき さとる
石垣 悟

日本無線株式会社 ソリューション事業本部 通信ソリューション技術部 担当部長

ちゅうまん あつお
中満 敦雄

えびの市 総務課 主幹

つじ としのり
◎辻 利則

公立大学法人宮崎公立大学 人文学部 国際文化学科 教授

ひろおか じゅんじ
広岡 淳二

社団法人九州テレコム振興センター 事務局長

ふるごおり ひろし
古郡 浩

日本通信機株式会社 厚木工場 技術部 放送グループグループリーダー